



天を造り出し、
これを引き延べ、
地とその産物を押し広め、
その上の民に息を与え、
この上を歩む者に
霊を授けた創造主は

こう仰せられる。
わたし、主は、
義をもってあなたを召し、
あなたの手を握り、
あなたを見守り、
あなたを民の契約とし、
あなたを光とする。
イザヤ四十二章5、6節

写真/知床五湖に反映する森

神（創造主）の永遠の力と神性は、
世界の創造された時からこのかた、
被造物によって知られ、
はっきりと認められるのであって、
彼らに弁解の余地はないのです。

（ローマ 1:20）

巻頭言 宇佐神 実 ジェネシスジャパン会長

森の地下ネットワーク

自然に囲まれた湖を訪れると、森林が湖面に映じてすばらしい景色となって私たちの目に飛び込んできます。逆さまに映った森林は、まるで地下にも森林があるかのようです。

私たちが森林の景色を眺める時、意識しているのは地上の部分だけで、あまり地下がどうなっているかなどを想像しないのではないのでしょうか。

実は、森林の地下には、地上と同じ重量の部分が隠されているのです。

もちろん、湖面に映るように木

がそのままひっくり返って生えているわけではありませんが、樹木と菌類（きのこ・カビ）の共生によって築かれた地下ネットワークが存在しているのです。

森林の地上部分だけを見ると、個々の木が単独で成長しているように見えますが、地下部分にあるネットワークは、縦横無尽に張り巡らされていて、木々が菌類を介して相互に密接に協力し助け合いながら生育していることが近年わかってきました。

ところで、植物の生育に必要な元素として知られているのが炭素

(C)・水素 (H)・酸素 (O)・窒素 (N)・マグネシウム (Mg)・カルシウム (Ca)・カリウム (K)・イオウ (S)・リン (P)・鉄 (Fe) の10元素ですが、そのうち窒素とリンは、植物が根から直接取り込むことはできません。しかし樹木の根と共生している菌類は、窒素やリンを根が吸収できる化合物に変換させるので、それによって取り込むことができるのです。

菌類は根から栄養をもらって菌根（きのこなど）を形成します。菌根にはいくつもの種類がありますが、そのうちほとんどあらゆる陸生植物の根に形成されるアーバスキュラー

菌根は、3つの主要な機能があります。それは、リン等の吸収促進、水分の吸収促進、病気に対する耐性の向上が挙げられます。

これによって植物は乾燥に強くなり、やせた土地でも効率よく養分を吸収できるようになります。

一方、この菌類は植物から離れて単独で増殖することはできません。ですから、この菌類は植物と一緒に最初から存在していなければ、共に存在できないのです。

進化論では、それぞれが独立して進化したと考えますが、互いが同時に一緒に存在しなければ存在できない植物と菌類がどうやって別々に進化を遂げたのでしょうか。もちろん、創造主が共生させる目的でこれらを最初から造られたのであれば、このような共生関係が存在するのは当然のことです。

ダーウィンが進化論を提唱した頃、ダーウィンは適者生存の原理を信じていて、生物は互いに生存競争を繰り返し、生き残った勝者だけが今日も存在していると考えました。

例えば、光合成をする植物は、養分を作り出すために他の植物を押しつけてでもできるだけ陽光を浴びられるようにと生存競争をし、結果として今日生息している植物は、生存競争に打ち勝った植物で、日陰になってしまった植物は絶滅していったと考えました。

しかし近年の研究の成果は、木々が単独で生存競争しているのではなく、森林の地下で根と菌類のネットワークによって、協力していることがわかったのです。具体的には、光合成などで養分を十分に作り出した植物から、作り出せなかった植物へと地下ネットワーク経由

で養分が供給されているのです。

そういうわけで、森は全体として一つの共同体で、そこには共生共栄のシステムが存在しているのです。

もしダーウィンが現代科学の知識をもっていたなら、本当に進化論を提唱できただろうかと思うことがあります。

調査が進めば発見されるだろうとダーウィンが期待していた中間形態の化石は現在も発見されていません。また適者生存とは逆の、共生のシステムが解明されてきています。

聖書は、創造主の永遠の力とご性質は、被造物を通して明らかにされていると教えています。森が一つとなって協力して生存していることを考えると、創造主が秩序と一致の方であることを思わされるのです。



写真／クレタ島の褶曲

しゅうきよく 褶曲とノアの洪水

写真のように折れ曲がった地層を褶曲した地層といいます。そしてそのような地層が世界中に見られます。それはなぜでしょう。

進化論者は、これらの地層は何万年もの長い年月をかけて堆積し、堆積した地層に長期にわたって横からの力が加わって折れ曲がったために褶曲したと考えてきました。しかしもしそれだけの長い年月をかけて地層が堆積したのなら、地層は硬い石のようになってしまい、横からの力が加わってもこのように折れ曲がる代わりに地層が割れてずれて断層ができるはずですが。

地層をお餅にたとえて考えてみましょう。三種類ののし餅（草餅・豆餅・白い普通の餅）を重ねると、横から見ると地層のように重なって見えます。それがつきたての餅

であれば、横からの力を加えると、写真の褶曲した地層のようにぐにゃりと折れ曲がってしまいます。

一方1週間放置して固くなった餅に横からの力を加えると、そう簡単には曲がりません。無理矢理に力を加えたら、お餅が折れて割れてしまうでしょう。

そのように、写真のような何層もの地層が褶曲するためには、それらの地層が短期間で堆積しなければなりません、しかも堆積した後、比較的早い時期（地層が硬い石になってしまいう前）に横からの力が加わらなければなりません。

では、そのような褶曲ができる状況の原因となる出来事は歴史の中で起こったのでしょうか。聖書を見るとかつて世界中をおおうノアの洪水が起こったこと、最初は大陸が一つ

だけだったことが記録されています。ノアの洪水の後半か洪水後間もなく急速に大陸移動が起こったと考えれば、褶曲に必要な条件は整います。大洪水で短期間のうちに堆積した地層が、固くなる前に移動してきたプレートに押され、横からの力が加わって地層が褶曲したと考えられるからです。

日本でも何箇所か褶曲地層が知られています。これらは聖書のノアの洪水を裏付ける証拠です。

今年の夏の聖書&科学カンファレンスでは、和歌山県に露出している天鳥の褶曲を見に行きます。地質学者の山本哲也先生が、案内して下さいます。現在では固い石になってしまっているこの褶曲した地層が、ノアの洪水とどのような関係にあるのか、日本列島がどのように形成されたのかを現地と一緒に考えてみませんか。

アンケート @ 春の創造 セミナー

全ての講演が心に残りました。人がどんなに地球の事を調べても、いくつも謎が出て来て、自分たちがどれほど無知で小さいのだらうと思いました。特に漢字の成り立ちを知って、これからの勉強も楽しくなりそうです。（匿名）

宇佐神先生、山本先生、加藤先生たちを見ていて、私達を教えようとしているのではなく、示されたことを分かち合いたい！といきいきと話している姿を見て、励まされました。とってもかっこいいなと思いました。感謝です。KE

写真／春の創造セミナー





写真／春の創造セミナー



創造主はいろいろな動物、植物、生物を創造できる大変知恵に富んだ、まあ数学的に書けば「+永遠」の知恵を持ったお方なのだなあと実感しました。UN

まわりの環境の抜群の自然観、広さとはすばらしく心を広げます。おふろがよかったです。スタッフの方々があたたかかったです。(匿名)

私は3回目、今回はなおすばらしかったです。博物館はよかったです。OS

とても楽しかったです。また参加したいです。これも神様のおかげです。UH

山本先生のお証を思いがけずお聞きできて、感謝でした。主を第一にする人の人生を主は豊かに祝福してくださいとのなあと、思いました。宇佐神先生の話で創世記と漢字の成り立ちの

関係がわかりました。子供たちと漢字を学ぶのが楽しみとなりました。博物館では、山本先生と一緒に展示物を見、解説をいただけて、感謝でした。(匿名)

日本は博物館も進化論ばかりで、創造論を学ぶ機会がほとんどないのでとても貴重な学びでした。

毎朝、うぐいすや様々な小鳥の鳴き声で目が覚め、自然の中でリフレッシュできました。あすなるの里全体が満開の桜で、主からの素晴らしいプレゼントでした。また来たいです。YK

子供(小学生以下)のプログラムで宇宙が広いことがわかった。漢字と創世記が関連しているの、ビックリ!!

景色がものすごく良く、展望風呂などもよかったです。夏のカンファレンスにも行きたくなった。YY

ジェネシスジャパン クリエイションフォーラム 2015 イベント予定

■ 2015/8/17-19

CFJ 聖書 & 科学カンファレンス

@潮岬青少年の家

歌山県東牟婁郡串本町潮岬 669

講師：CFJ 加盟団体講師陣

一般カンファレンス

* 科学者／牧師による創造論の講演／Q&A
ポスターセッション

* 関心のある話題を科学者と語り合う

キッズ・カンファレンス

* 聖書と科学の話&ゲーム

* エビとカニの水族館見学

フィールドトリップ

* 天鳥の褶曲とフェニックスの褶曲

* 橋杭岩(串本町)など

* オプションで船から褶曲見学

■ 2015/10/28～30

ジェネシスジャパン秋の創造セミナー

@ホテルグリーンプラザ白馬

主講師：宇佐神正海

ジェネシスジャパン 会員読書サークル

現在は、ヘンリー・モリス著、宇佐神正海訳の「黙示録の記録」を掲載しています。

会員読書サークルはジェネシスジャパン会員の方が対象です。ジェネシスジャパンホームページから「会員ページ」をご参照ください。

参加は無料です。参加ご希望の会員は下記までメール下さい。アクセス情報をお送りします。

mail: gjm@genesishjapan.com

PCのない会員の方は、実費にてプリント版をお送りします。事務局までご連絡ください。